

ごあいさつ

醍醐地区社会福祉協議会 会長 茂木 藤雄

地域の皆様方には日頃より醍醐地区福祉協議会の事業、活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

福祉協は地区民みんなが健康で明るく暮らしやすい地域づくりをモットーに連日頑張っております。

コロナウイルスが世界各国で増加し続けている昨今、この一月にはとうとう恐れていた第6波が全国各地に広がり、寒河江市内でも高齢者のみならず学校、保育所など幼児から児童まで広がり終息が見えない状況下の中、自宅待機を余儀なくされている方達もいるやに聴こえ福祉協の活動も幅広く強く求められております。

醍醐地区社協でも民生児童委員、地区福祉推進委員が見守りネットワークを中心に活動しております。

簡単なお願いですが皆さんにもすぐできることがあります。それは回覧板の手渡しです。声掛けすることにより隣家、地域の色々情報なども会話の中に出て来るかもしれないからです。

とにかく隣組⇒町会⇒地域の一体化、更に福祉協と連携し醍醐地域住民の安全・安心な「く・ら・し」を守り続けることこそが大事と考えます。

◇ ◇ ◇ 今年度の事業実施報告 ◇ ◇ ◇

今年度予定した事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、委員研修会と新そばを食べる会等は中止とさせていただきました。

そんな中ではありましたが、今年度実施できた事業について報告します。

◎三者懇談会及び研修会

<7月27日(火) 慈恩寺活性化センター>

<7月28日(水) 日和田公民館>

各町会長及び地域福祉推進員・民生委員児童委員による三者懇談会を、新型コロナウイルス感染防止対策のため2会場に分けて、慈恩寺地区は21名、日和田・箕輪地区は24名の出席を



得て開催しました。懇談会に引き続き、「見守りネットワーク事業」について、市社会福祉協議会の柿崎主事を講師に迎え、「見守り活動」「地域福祉推進員の役割」等について研修を行いました。

また、当地区社協の茂木会長からは、4月から学童保育「だいごっこクラブ」は地区社協が運営母体になったことが報告されました。



◎地域福祉推員懇談会

< 9月10日（金）慈恩寺活性化センター >

地域福祉推進員と地区社協役員21名が出席して懇談会を実施しました。

市社会福祉協議会の柿崎主事から、他地区での「見守りの取り組み」事例の紹介があり、これを



参考に当地区でも一人暮らし高齢者や高齢者世帯へのチラシを配布しながらの訪問活動を実施しました。

また、懇談会では、新たな取り組みとしてグループに分かれて情報交換等を行い、代表者からまとめを発表してもらいました。

大変有意義な懇談会になりました。

◎健康づくり講演会

< 12月3日（金）箕輪公民館 >

昨年度は実施できなかった「健康づくり講演会」を、箕輪公民館を会場に「いきいき100歳体操」の皆さんにも協力していただき41名で実施しました。

講演は、「いつまでも明るく健やかに暮らすために」をテーマに感染症の予防と対策について、市健康福祉課の黒田主幹からお話をいただきました。コロナウイルスのほか、インフルエンザ、風邪等の感染症には、マスク・手洗い・うがいが重要であること、また、日頃からウイルスに負けない身体づくりが重要であることが話されました。





続いて、「特殊詐欺防止、交通安全関係」について、慈恩寺駐在所の小野巡査部長からお話をいただきました。特殊詐欺防止には留守番電話設定が有効であること、山形県は全国的にも無施錠率が高く、家はもちろん、車にも施錠することを忘れないようにすること、また、高齢者の交通事故が多発しており、交差点での徐行・一時停止の徹底や、夕暮れ・夜間に外出する際には夜光反射材を着用するようにとのお話がありました。

皆さんからマスク着用して参加いただきましたが、予想を上回る人数となりました。今後も新型コロナウイルス感染拡大に留意の上で事業を計画していきます。

◎その他の活動

○醍醐小学校創立記念日に児童全員にノートを贈呈

醍醐小学校が創立147周年を迎え、10月14日の創立記念日に、当協議会の沖田副会長から、全校児童47名に学習ノートを贈呈しました。

今後の学習に役立てていただければ幸いです。

○歳末たすけあい運動配分委員会を開催

12月9日（木）、日和田公民館で「醍醐地区歳末たすけあい運動配分委員会」を開催しました。地区内十数名の方々に、民生委員児童委員から歳末激励金をお渡しすることができました。

★見守り・気配りの大切さ

田沢町会 地域福祉推進員 草刈 祥子

令和2年度より、田沢町会の地域福祉推進員を担当させていただいております。コロナ禍での活動は最小限になっておりますが、令和2、3年度は1人暮らしの高齢者の方を対象に防災キット、チラシの配布等をしながら民生委員さんと一緒に訪問させていただきました。現在、見守り対象者の方は町会にはいませんが、親族、ヘルパーの方などの目が届かない1人で過ごしている時間帯は、やはり近所の方々のちょっとした見守り、気配りが必須だと感じております。近所同士の情報共有と声がけなどは、昔からおばあちゃん達が仲良くしてお茶飲みなどしながら、町会、地域にはみんなで協力しなければならぬよと、よく話をしていました。



人口減少、少子高齢化などと、マイナスイメージの昨今ではありますが、醍醐地区社会福祉協議会の会議、講演会に参加させていただきましたが、会長さんをはじめ役員の方々は、経験豊富で、

プラス志向の明るい方々がそろっており、とても安心です。相談したい事がありましたら、是非お声がけいただきたいなと思っております。

☆気にかけて合う つながり

東上宿 地域福祉推進員 佐藤 恵美子

東上宿には団地が加わり、醍醐地区では、どの地区より多い、55世帯となっております。その中で、見守り対象者5名を挙げ活動しています。「変わりありませんか・・・お顔を見に来ました。」と訪問すれば、快く対応してくださり感謝しております。

しかし、対象者の中には電話も繋がらず、玄関の鍵をかけ声がけにも応答なく、なかなか声がけできなかったことも多々ありました。(元気でいるのか・・・食事は摂っているのか・・・寝込んではいないだろうか・・・)全くわからない状況のこともありましたが、ご近所さんより情報を得られたことが、何よりの安堵に繋がったのも確かです。今日が元気でも、明日も元気であるという保証は無いだけに見守りも一時的にしか過ぎないことも現実です。

だからこそ、ご近所様の情報・協力も必要となって、お互いに「気にかけて合う つながり」が大切だと思っています。

また、新型コロナウイルス収束がまだまだ望めない今、人との交流も希薄になっております。

地域の皆様のちょっとした見守りが役に立ちますので、どうぞご協力をお願いしたいと思います。

☆コロナ禍の中での保育

学童保育「だいがっ子クラブ」支援員 熊坂 真理子

日頃より、醍醐地区の皆様はじめ、社会福祉協議会の皆様、たくさんの方々から、寒河江市学童保育だいがっ子クラブへの運営協力、様々な活動へのご支援ご協力をいただきまして、心より感謝いたしております。

だいがっ子クラブは、平成28年4月に開所し、今年で6年目を迎えました。現在は16名が入所し、毎日元気いっぱい子ども達と一緒に活動しています。今年度も、昨年に引き続き、コロナ禍の中での保育となりました。子ども達の健康観察、下校後の検温、マスク着用、



手指消毒、換気、空間除菌を行い、子ども達が活動する室内には、空気清浄機や次亜水での空間噴霧、オゾン発生器での空間除菌を行っています。また、毎日、子ども達が使用した玩具も全て消毒し感染症予防を徹底して行っています。今年度は、二酸化炭素濃度測定器を購入し、室内の二酸化炭素量を把握し、定期的に換気を行いながら、密を避けるように留意しています。

また、県内のコロナ感染拡大により、遠足や映画鑑賞等の行事が中止になりました。しかし、クリスマス会はみんなが楽しめる活動をと考え、村山教育事務所の方々が活動している、GGボランティアの

みなさんに依頼し、子ども達に工作を教えていただいたり、遊んでいただきました。

割りばし鉄砲作り、ブーメラン作り、どんぐり工作、ぴよんぴよんボールの作り方を教えてもらいました。活動の後半では、作った作品を使い、ゲーム感覚で遊んだり、特にブーメランを作った子は、どうしたらもっと飛ばせるか、自分の所へ戻ってくるように飛ばすにはどうしたらいいのか、何度も何度も調整し、ガムテープを貼ったり、ホッチキスで止めたりしながら、自分だけのカッコいいブーメラン作りに夢中になっていました。



クリスマス会

では、子ども達みんなの歓声が響き、今年度で一番の笑顔があふれる楽しい活動になったと思います。

まだまだ、県内各地での新型コロナの感染が広がり、不安と隣り合わせの日々ではありますが、学童に入所する子ども達の健康を守り、毎日笑って過ごせる、あたたかい学童を目指し、日々の保育に努めていきたいと思っています。

今後も、ご指導、ご協力をお願いいたします。



★駐在所着任のごあいさつ

慈恩寺駐在 巡查部長 小野 晟司

令和3年4月から慈恩寺駐在所に来ました、小野^{せいじ}晟司、^{かなえ}叶^{かなえ}といいます。

私達も夫婦で警察官で現在1歳になる娘と一緒に駐在所にいます。私達は、駐在所も寒河江市も初めてだったのですが、この地域の食べ物の美味しさ、人の優しさや温かさに本当に感謝しているところです。

簡単にですが、私達の自己紹介をさせていただきます。二人とも年齢は26歳、私の出身は天童市で妻が中山町です。私の特技は空手で、妻は柔道をしていました。

そう言ったところで、私達二人のことは格闘技夫婦と覚えてください。



令和3年度醍醐地区社会福祉協議会役員

	顧問	伊藤 正彦	
会長	茂木 藤雄	副会長	沖田 政明
監事	佐藤 和彦	監事	大泉 啓蔵
庶務	旭 幸一	会計	阿部 正春
幹事	阿部 正幸	幹事	草刈 和男
幹事	水谷 広克	幹事	大沼 愛子

役職名	氏名	役職名	氏名
鬼越町会長	児玉 篤	地域福祉推進員	小泉 一寛
南坂町会長	矢作 信弘	地域福祉推進員	茂木 栄美子
桜橋町会長	軽部 光弘	地域福祉推進員	軽部 甚逸
田沢町会長	鈴木 昭一	地域福祉推進員	草刈 祥子
橋本町会長	古澤 秀夫	地域福祉推進員	古澤 いく子
下道町会長	富澤 三弥	地域福祉推進員	矢作 三津子
新御堂町会長	村上 守	地域福祉推進員	那須 きみ子
上宿町会長	逸見 吉晴	地域福祉推進員	逸見 由記子
東上宿町会長	佐藤 順二	地域福祉推進員	佐藤 恵美子
中宿町会長	(沖田政明)	地域福祉推進員	沖田 喜久子
下宿町会長	大泉 正紀	地域福祉推進員	大泉 紀子
箕輪町会長	(佐藤和彦)	地域福祉推進員	松田 友子
慈恩寺分館長	北條 昌晴	民生委員児童委員	(旭幸一)
日和田分館長	(大泉啓蔵)	民生委員児童委員	阿部 礼子
箕輪分館長	猪倉 通文	民生委員児童委員	(沖田政明)
社会福祉団体		主任児童委員	奥平 暁俊

<編集後記>

昨年度に比べればやや少なく感じるものの、この冬も雪片付けに追われる日々が続きました。新型コロナについては、本年1月に、市では注意・警戒レベルを「3 特別警戒」に引き上げ、感染拡大の勢いがなかなか収まらない状況です。『三密』を避けた生活が続く毎日ですが、ご近所同士で何か変わったことがないか気を配りながら、引き続き安心して暮らせる地区「醍醐」を皆さんで作っていきましょう。

(地区社協 庶務担当 旭)